

# 地域交通戦略を踏まえた最近の動向について

# 地域交通戦略を踏まえた最近の動向について

- 本年2月に策定した富山県地域交通戦略において、「関係者でともに取り組む施策」として以下の施策を位置付け（本部会に特に関係する施策は赤線箇所）
- 本部会に特に関連する施策の最近の動向は次ページ以降のとおり

## 関係者でともに取り組む施策

### 地域の活力・魅力向上のための「投資」

- 1 鉄軌道等のサービスレベル向上に対する投資
  - (1) 鉄軌道の混雑緩和等のための輸送力の強化
  - (2) 快適性・環境性の向上のための鉄道車両の導入、鉄軌道設備の更新・改良等
  - (3) キャッシュレス決済の導入
  - (4) サービスを支える担い手の確保・育成
  - (5) 教育・子育て・福祉等を支える鉄軌道サービス等の確保
- 2 まちづくりと連携した駅の機能強化に対する投資
  - (1) 駅を中心としたまちづくりや駅の交通結節機能の強化
  - (2) 市町村のまちづくりの拠点となる駅の空間を活用した地域拠点機能の強化
  - (3) 駅施設のバリアフリー化
- 3 地域内のモビリティサービス（バス・タクシー・新モビリティサービス）に対する投資
  - (1) 新たなサービスの立上げなど地域主体の取り組みの推進
  - (2) サービスを支える担い手の確保・育成等
- 4 ネットワーク内の移動・交流の創出に対する投資
  - (1) ネットワーク内のサービス等の連携（MaaSの充実等）
  - (2) とやまロケーションシステムの充実・利活用
  - (3) 地域交通に関するデータ連携基盤の構築

### 地域の活力・魅力向上のための「参画」

- 5 利用者としての参画
  - (1) 地域交通を中心としたライフスタイルへの転換
- 6 支え手・担い手としての参画
  - (1) 地域交通の支え手としての積極的な参画
- 7 沿線まちづくりとしての参画
  - (1) 駅を拠点としたまちづくり
  - (2) 拠点駅の駅空間等を活用した事業活動・社会活動
  - (3) 地域の魅力向上につながる駅設備・車両のデザイン性向上
- 8 地域交通サービスとの連携等を通じた参画
  - (1) 各文化・商業施設や観光地等における地域交通の運行情報等の案内
  - (2) 沿線地域の関係者と連携したMaaSアプリでの新たなデジタル乗車券の企画・作成
  - (3) 各地域のイベントと連携した地域交通の誘客や観光資源としての活用
  - (4) 地域交通サービスによる観光客の移動環境の整備
  - (5) その他、他分野・他業種と地域交通サービスの連携の検討

「富山県地域交通戦略」から抜粋

**地域の活力・魅力向上のための「投資」について**

# 地域内モビリティサービスに対する投資① (地域主体の新たなサービスの取組みの推進)

施策3-(1)、8-(5)関係

○戦略策定後、県の事業（※）や国のモデル事業を活用した、地域の取組みが開始  
※地域の関係者による持続可能な移動サービスの立上げ（実証運行）を支援するため、R6年度に「地域共創型移動サービス推進事業」を創設

## ＜新たな取組みの例＞



### 「チョイソコとなみ」（砺波市）

事業所に停留所を設置する協賛制度  
「ウチマチサポーター」\*を開始  
(R6.10.1～)

\* 取組に賛同し、事業所に停留所設置を希望する市内事業者を募集し、10,000円/年をスポンサー料として納めてもらう。



### 「のるーと射水」（射水市）

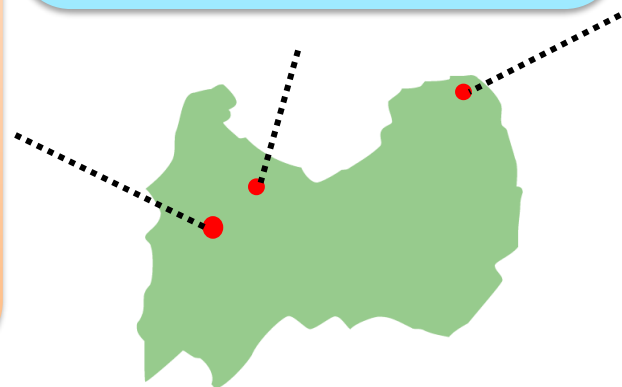
R6.9～北東エリアでの実証運行開始



### 「ノッカルあさひまち」（朝日町）

児童の利用に配慮した機能\*を追加  
(R6.4.1～)

\* 児童の乗降時に、登録した保護者のLINEに乗降通知が届く。



# 地域内モビリティサービスに対する投資② (地域主体の新たなサービスの取組みの推進)

施策3-(1)、8-(5)関係

○地域主体の新たなサービスの立上げに向けて各地域で取組みが展開  
(県内では、国の「共創・MaaS 実証プロジェクト」に計13件が選定)

## 【R6年度共創モデル実証運行事業 選定事業】(8件)

事業実施地域	共創プラットフォームの名称	事業名
富山県魚津市	魚津市交通 DX(オンデマンド交通)実用化共創プラットフォーム	魚津市交通 DX(オンデマンド交通)実用化事業
富山県黒部市	Go トレプロジェクト共創プラットフォーム	外出自主トレーニングプログラム「Go トレ」-ブラッシュアップ PJ -
富山県南砺市	Go トレ@ふくみつ共創プラットフォーム	新しい福祉サービス「Go トレ@ふくみつ」開発 PJ- 中山間地域での福祉×交通×介護予防-
富山県立山町	芦峯寺線「リ・デザイン」共創プラットフォーム	芦峯寺線デジタル活用「リ・デザイン」実証事業
富山県射水市	射水市公共交通共創プラットフォーム	コミュニティバス置換型 AI オンデマンドバス「のるーと射水」実証運行
富山県朝日町	朝日町公共交通デジタル化実証プラットフォーム	朝日町公共交通デジタル化実証事業
富山県南砺市	南砺市公共交通共創プラットフォーム	南砺市公共交通共創プロジェクト
富山県氷見市	上庄谷地域・余川谷地域における持続可能なデマンド運行システム共創プラットフォーム	システム共同化による持続可能なデマンド運行実証プロジェクト

## 【R6年度モビリティ人材育成事業 選定事業】(5件)

事業実施地域	事業実施主体	事業名
富山県魚津市	富山県魚津市	魚津市交通 DX (オンデマンド交通) 実用化共創プラットフォーム人材育成事業
富山県黒部市・南砺市	一般社団法人 SMART ふくしらぼ	「コミュニティ・ドライブ」プロジェクト
石川県小松市・富山県南砺市	一般社団法人全国自治体ライドシェア連絡協議会	「インクルーシブな交通政策」に係るコーディネーター育成事業
富山県全域	「ヒトとマチの動かし方」研究会 UgoQ	富山県における「投資」と「参画」による共創創出コミュニティ育成
富山県南砺市	一般社団法人ジソウラボ	「デマンド×サブスク運賃×貨客混載」事業を実現する高付加価値型モビリティ・コーディネーターの育成

# サービスを支える担い手の確保・育成①

施策3-(2)関係

- 8月の地域モビリティ部会・交通ワンチーム部会（合同開催）の議論を踏まえ、バス運転手の確保対策を強化
- バス運転手専門の就職イベント「どらナビEXPO東京」に、県とバス事業者が連携し、ブースを出展。県の移住支援制度とも連携し、全国レベルでの採用活動を実施



50名を超える求職者が  
富山県ブースに来訪



富山県移住支援員による  
富山県紹介の様子

## 【ドラナビEXPO東京 概要】

日時：10月12日(土)10:00～18:00、場所：東京国際フォーラム Bホール、来場者数：約500名

# サービスを支える担い手の確保・育成②

施策3-(2)関係

- どらなびEXPO東京でのブース出展後、県内バス事業者の見学・体験ツアーを実施
- 県内バス事業者への就職に関心がある方、就職を検討する方が県内外から参加。職場を体感するとともに、人事担当者との座談会を通じ働くイメージをもっといただく機会を設定。
- この他、年度内に女性バス運転手確保対策セミナー等を実施予定



営業所見学ツアー（11月30日開催）



運転席体験



営業所見学



現役運転手や人事担当者との座談会

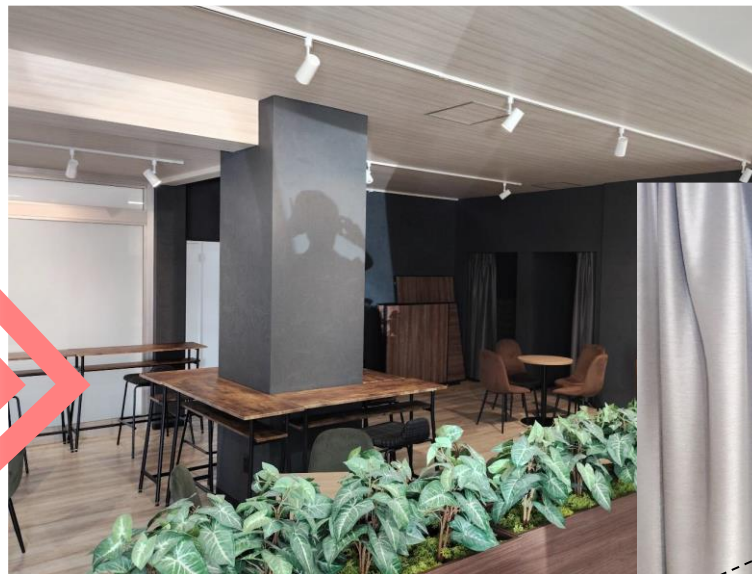
# サービスを支える担い手の確保・育成③

施策3-(2)関係

- 女性や若者をはじめ、多様な人材が働きやすく、担い手のウェルビーイング向上につながる職場環境の整備等を推進
- この他、交通事業者における二種免許の取得や、デジタル技術を活用した業務の効率化、負担軽減も支援



改修前の加越能バス高岡営業所の様子



カフェスペース内には、個室スペースも設置



カフェスペースの新設（加越能バス高岡営業所）



**地域の活力・魅力向上のための「参画」について**

# 地域交通を中心としたライフスタイルへの転換 （「電車・バスで行こう！キャンペーン」）

施策5-(1)関係

- 公共交通を実際に利用してその便利さや快適さを感じていただくため、「電車・バスで行こう！キャンペーン」を実施（開催期間：10月21日～11月10日）
- キャンペーン期間中、電車やバスが90分乗降・乗換え自由なデジタル乗車券をスマートフォンアプリ「my route」で販売
- 公共交通のメリットを伝える動画をSNS等で配信しキャンペーンをPR
- R6年度中に第2弾を開催予定



キャンペーンPRグラフィック



デジタル乗車券イメージ



キャンペーンPR動画「電車通学のメリット」編  
（再生回数：約2.6万回（11月末現在））

# 地域交通の支え手としての積極的な参画（でんしゃ・バスまち店舗）

施策5-(1)、6-(1)関係

- 県内ファミリーマート24店舗と連携し、店舗内のイートインスペースを最寄り電停・バス停の待合所とする「でんしゃ・バスまち店舗」を開設（7月22日～）
- 各店舗に「とやまロケーションシステム」を活用したQRコードを設置し、最寄りの電停・バス停のリアルタイム運行情報を確認可能に
- 提携店舗の拡大に向けて、他の沿線店舗等にも働きかけを実施中



店舗入口ステッカー



店内のぼり



店内ポスターの例

座席付近に店内ポスターを貼付し、リアルタイム運行情報を入手しやすい環境を整備



「でんしゃ・バスまち店舗」開設式（7月22日）

○沿線の高校生がデザインした車両ラッピング事業、公共交通を身近に感じ、魅力を再発見するイベント「とやまレールライフフェスタ」（会場：富山駅、越中八尾駅）開催を支援

※地域の関係者が連携・協働して行う、駅空間・駅前空間におけるイベント開催、駅施設・車両等のイメージアップ・デザイン性向上に係る取組み等を支援するため、R6年度に「交通まちづくり参画促進事業費補助金」を創設

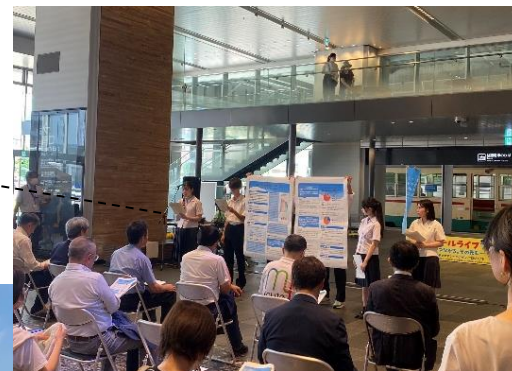
富山北部高校情報デザイン科の生徒がラッピングデザイン、車両基地で仕上げのフィルム施工



(出典：富山地铁アテンダントブログ)

フローラルとやま実行委員会「フラワーデー（花贈り日）」に合わせた車両ラッピング(R6.2～3月)

富山駅では、富山高校の生徒が公共交通の利用促進案を発表



(出典：とやまレールライフ・プロジェクト【公式】X)

とやまレールライフ・プロジェクト「とやまレールライフフェスタ」開催の様子 (R6.8.4)

# 駅や公共施設等における地域交通の運行情報等の案内 (デジタルサイネージの設置)

施策8-(1)、8-(4)関係

- 駅や公共施設等に、最寄りの鉄道やバス等の運行情報を案内するデジタルサイネージを設置する取組みを支援
- 富山駅前8番乗り場前（乗り場前のコンビニエンスストアと連携）と富山市民病院へのサイネージの設置を新たに支援
- 年度内に富山県美術館にも設置予定



富山駅前8番乗り場前コンビニエンスストア  
(R6.8月設置)



富山市民病院入口  
(R6.8月設置)



富山市民病院入口のサイネージの例